

第 34 北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会議事録

日時：2022 年 7 月 28 日（木） 18:30～18:40

場所：ZOOM 開催

出席者（別紙参照）

報告事項（事務局 村上より）

1. 大腿骨近位部骨折地域連携パス北九州標準モデルの利用状況

令和 4 年 4 月 30 日までに事務局へ送信され受理した連携シートについて報告した。急性期医療機関は 259 件/4 ヶ月、回復期等連携医療機関は 376 件/4 ヶ月であり、運用開始から急性期医療機関、回復期等連携医療機関の両施設より受理した患者数は 4019 名、合計 8077 名の利用となった。

・集計結果（全受理データ）

急性期医療機関、回復期等連携医療機関ごとの事務局の受理件数、事務局への未送信件数を示し、未送信分に関しては送信していただくよう呼びかけた。加えて全受理データを用いて、年代別利用状況、骨折型別発症割合について報告した（ホームページ上の集計結果を参照）。

2. 5 回の立ち上がりテスト（改訂版）の評価特性及び退院時歩行能力の予測精度に対する調査の説明

・研究調査の目的として、大腿骨近位部骨折術後患者における上肢を用いた 5 回の立ち上がりテスト（5TTS）改訂版の検者間信頼性、およびその妥当性を明らかにすることと 5TTS 改訂版の結果が回復期病院退院時の歩行機能および患者の転帰の予測因子となるかを検討することとする。

・対象は大腿骨近位部骨折を受傷し、当院手術が施行された 40 歳以上の者かつ受傷前に屋内歩行が可能であった者とする。また、評価項目として、当院退院時では 5TTS 改訂版、筋力（上下肢）、疼痛、日常生活動作、認知機能検査、歩行機能とし、回復期病院退院時の歩行機能および転帰の結果はパスデータより抽出する。5TTS 改訂版は、通常の 5TTS の方法に上肢支持を追加する。

・研究の同意として、北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会の参加施設には、研究協力機関としてパスデータの二次利用について本協議会で同意を得た。加えて、研究協力機関に関する代表者として各施設の委員を代表者とさせていただくこととした。

3. その他

- ・異動等で委員が不在の病院は、委員変更届を提出するようお願いした。
- ・当該病院のアルファベットに関しては、事務局まで問い合わせをお願いした。

4. 質疑応答

- ・委員長の土屋先生より、5TTS 改訂版の測定の際の上肢の手すりの位置について、脊椎のアライメント等を考慮し検討するようにとご指摘頂いた。

ご意見やご要望の連絡先

北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1 産業医科大学リハビリテーション医学講座

担当職員：天野陽子、担当医：伊藤英明

Fax 093-691-3529

E-mail: reha@inbox.Med.uoeh-u.ac.jp

文責 村上 武史、伊藤 英明

北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会事務局幹事

産業医科大学リハビリテーション医学講座 Tel 093-691-7266

2022年7月28日開催 第34回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会

委員登録届出 参加医療機関

※Zoom参加者リストより当協議会事務局で確認できた医療機関名のみ掲載

北九州総合病院	正和中央病院	九州労災病院
小倉記念病院	製鉄記念八幡病院	JCHO九州病院
健和会大手町病院	新小倉病院	新小文字病院
福岡新水巻病院	産業医科大学病院	北九州市立八幡病院
北九州市立医療センター	小倉リハビリテーション病院	正和なみき病院
戸畑けんわ病院	北九州安部山公園病院	門司メディカルセンター
芦屋中央病院	新生会病院	くらて病院
西野病院	遠賀中間医師会おかがき病院	新中間病院
北九州中央病院	香椎丘リハビリテーション病院	新王子病院
慈恵曽根病院	大手町リハビリテーション病院	東筑病院
浅木病院	戸畑リハビリテーション病院	北九州宗像中央病院